



にじのはし幼稚園 園だより



令和 5 年 9 月 号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

園児・保護者皆様が元気に 2 学期を迎えることができ、大変うれしく思います。夏季休業中はいかがお過ごしでしたか。私は研修にて、AI 時代を見据えた教育について話を聞きました。これまでの時代は、オールマイティーな能力をもつ人が必要とされていたが、これからは、AI が担えない分野で一芸に秀でた自律的なエキスパート（一定の分野においてスキルが高い人）が必要とされるとのことでした。

経済産業省の「未来人材ビジョン」（2022.5）では、次の社会を形づくる世代に対して、「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力」「夢中を手放さず、1 つのことを掘り下げていく姿勢」「グローバルな社会課題を解決する意欲」「多様性を受容し他者と協働する能力」が求められるとしています。新たな未来をけん引する人材について、「好きなことにのめり込んで豊かな発想や専門性を身に付け、多様な他者と協働しながら、新たな価値やビジョンを想像し、社会課題や生活課題に『新しい解』を生み出せる人材。そうした人材は『育てられる』のではなくある一定の環境の中で『自ら育つ』とあります。

教育については、一律・一斉で画一的な知識を詰め込めば対処できる時代は終わり、今は「目指す社会に向けて何を実現すべきか」を考える時代となったとして、好きなことに夢中になれる教育に転換する必要があるとも言われています。そのために、☆一律・一斉で画一的な知識を詰め込む教育をやめる ☆一人ひとりの認知の特性・興味関心、家庭環境の多様性を前提にする ☆時間、空間、教材、コーチの組み合わせの自由度を高める転換をする、とあり、子どもたちが好きなことに繰り返し挑戦したくなる機会を増やしていくことが大事としています。学校教育では、1 人 1 台端末とリアルを組み合わせ、一人ひとり違う目標と教材選択で、多様な内容を、多様なペースで、個別に協働的に、主体的に学ぶ教育に変わっていくことが求められています。

本園は、教師主導や知識の詰め込みではなく、幼児の主体性を大事にした保育を行っています。幼児が夢中になって遊び、一人ひとりの興味が広がり、試行錯誤や探求、自己調整や他者との協働など、直接体験を通して豊かに総合的に学ぶことを重視しています。

幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

- 幼児の主体性を重視し、豊かな感性と創造性を育み、思考力の芽生えを培います。
 - ・幼児が遊びに没頭する中で、幼児自らが気づき、考え、判断し、行動する中で、試行錯誤する経験を積み重ねていきます。
- 教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、豊かな学びを保障します。
 - ・教師は、幼児の興味や関心、時季を踏まえた教材や、幼児が主体的に場やもの、人に関わって遊び込む環境構成を工夫し、幼児の直接体験を豊かにし、資質・能力を育てていきます。